



2025年6月27日

各位

会社名 株式会社パソナグループ
 代表者名 代表取締役社長 CEO 若本 博隆
 (コード番号 2168 東証プライム)
 問合せ先 副社長執行役員 CFO 仲瀬 裕子
 (TEL. 03-6734-0200)

特別損失の計上及び2025年5月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年5月期連結決算において、特別損失を計上するとともに、直近の業績動向を踏まえ、2025年1月14日に公表した2025年5月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、前回発表予想から変更はありません。

記

1. 特別損失の計上

当社は、2025年大阪・関西万博にパビリオン「PASONA NATUREVERSE」を出展し、身体・心・社会的な健康を実現するWell-beingな社会、そして誰もが心豊かにイキイキと活躍する真に豊かな社会のあり方を世界に向けて発信しております。当社パビリオンは開幕以来、人気のパビリオンとしてこれまで100万人近いご来場者にお越しいただいており、多くのマスメディアにも連日取り上げられております。

開会後は、当社パビリオンを兵庫県淡路島に移設することを予定しておりましたが、開会後の移設及び使用が見込まれないもの等、随時的に発生した費用について、当中間期に万博出展関連費用として2,571百万円を特別損失に計上いたしました。また当下期においては、中間期以降に発生した施設関連、運営関連等の費用を精査し、随時的な費用を万博出展関連費用として特別損失に計上することとなり、当連結会計年度においては合計で約4,830百万円、個別決算においては約4,840百万円の方博出展関連費用を特別損失として計上する見込みとなりました。

2. 2025年5月期 通期連結業績予想 (2024年6月1日～2025年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2025年1月14日公表)	320,000	1,700	2,000	△4,300	—
今回予想値 (B)	309,200	△1,250	△450	△8,650	—
増減額 (B-A)	△10,800	△2,950	△2,450	△4,350	
増減率 (%)	△3.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年6月期)	356,733	6,794	7,152	95,291	2,447.56
(ご参考) 前期実績 (2024年6月期) 中アクトリーシング セグメント除く	318,301	△821			

3. 業績予想修正の理由

当期は、前期に連結子会社の株式を売却したことにより、当連結会計年度の期首よりアウトソーシングマネジメントを廃止したことに加えて、BPOソリューションにおいて大型受託案件がピークアウトしたことから、前期からは売上高が減収となる計画を見込んでおりました。こうした中で、需要が拡大する企業の生産性向上やDX推進に伴うBPO需要の新規獲得を進めたものの、期末にかけて案件の獲得が想定よりも伸びず、売上高が前回発表予想を下回る見込みとなりました。エクスパートソリューションにおいては、4月以降は派遣稼働者数が単月で前年を上回ったものの、前回発表予想には至らない見込みとなりました。これらの売上未達が影響し、利益面でも前回発表予想を下回る見込みとなりました。キャリアソリューションは期初計画を上回る見込みですが、再就職支援事業において就職決定期間が想定よりも伸びたことにより、前回発表予想に届かない見込みとなりました。

これらの要因に加えて、前述の万博出展関連費用について特別損失を計上したことから、2025年5月期通期連結業績予想を修正いたします。

4. 2026年5月期 通期連結業績の見通し

次期の各セグメントの事業見通しについては、BPOソリューションは当期に続いて大型受託案件のピークアウト影響を受ける見込みですが、エクスパートソリューションは足元でも当期を上回って推移しており、粗利率改善を継続して進めることで、営業利益の拡大を目指してまいります。キャリアソリューション、グローバルソリューションについても、足元堅調に推移しており、また、赤字幅が縮小している地方創生・観光ソリューションは、インバウンドの集客を更に強化することで、既存施設を中心に収益改善を進めてまいります。これらの結果、収益を改善し黒字に転換する計画です。

なお、2026年5月期の通期連結業績予想につきましては、当期決算と合わせ、2025年7月15日に発表予定となっております。

中上記予想は現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以 上